

オペレーター特別講演会

様々なケースでのオペレーターの役割

2014年度R&Dの調査報告によると、日本国内では59.5%の歯科医院でレーザーが導入されており、歯周疾患、外科処置、審美歯科への応用と日常臨床の中で幅広く活用され、患者の皆様へも「レーザー治療」が広く知られるようになってまいりました。レーザー治療に対する知識だけではなく、エビデンスに基づく照射方法の技術も近年求められるようになってきております。

そこで弊社では、各分野でご活躍されている2名の講師方に、炭酸ガスレーザーについてご講演いただきます。是非ご参加くださいますよう、心よりお待ちしております。

■ 開催日 **平成27年7月2日(木)**

20:00~22:00

■ 会場 **株式会社ヨシダ 九州支店**
福岡市中央区大手門3-2-5 TEL.092-715-1435

■ 定員 30名

■ 受講料 3,000円(消費税込)

■ お申込方法 下記申込書に必要事項をご記入いただき、
(株)ヨシダ九州支店までFAX(092-762-3186)にてお申し込み後、
下記口座にお振り込みください。入金確認をもって受付と致します。

西日本シティ銀行 赤坂門支店
普通 1744055 カ) ヨシダ九州支店

※お振込手数料はお客様負担でお願い申し上げます。
※お振込用紙をもって領収書に代えさせていただきます。
※ご入金いただきました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。

■ お問合せ・お申込先 **株式会社ヨシダ 九州支店 担当：永池**
TEL.092-715-1435 FAX.092-762-3186

主催：  **株式会社ヨシダ** / 株式会社吉田製作所



●地下鉄一号线・大濠公園駅 4番出口より徒歩3分

「オペレーター特別講演会」申込書 FAX: 092-762-3186 H27.7.2

(ふりがな) 芳名	貴医院住所 〒
貴医院名	TEL. () FAX. ()
出身校	お取引歯科商店
■レーザー使用経験について(該当にチェックを入れてください) <input type="checkbox"/> 炭酸ガスレーザー[メーカー名:] <input type="checkbox"/> YAGレーザー <input type="checkbox"/> 半導体 <input type="checkbox"/> 無	
■インプラント治療について(該当にチェックを入れてください) <input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> 1~10本/年間 <input type="checkbox"/> 11~20本/年間 <input type="checkbox"/> 21~50本/年間 <input type="checkbox"/> 51本以上/年間	

※弊社では申込書にご記入いただいた情報は、社内で適切な安全対策の元に管理し漏洩等の防止に努めております。お客様の同意なく第三者への開示・提供はいたしません。弊社からのセミナー、サービス、新商品のご案内等に利用させていただく場合がございます。



◎ タイムスケジュール ◎

- 1. 20:00～21:00 船越 栄次 先生
- 2. 21:00～22:00 和田 圭祐 先生

船越 栄次 先生



九州歯科大学卒業
 Tufts 大学院修了
 Indiana 大学院修了
 同大学歯学部 准教授
 九州歯科大学臨床教授
 日本歯周病学会理事、専門医・指導医
 日本臨床歯周病学会顧問、専門医・指導医
 ITI section Japan Chairman
 ITI Board Member

我々の日常歯科医療において、多くの異なった発振源のレーザーが臨床に応用されているが、そのなかでも今日最も使用されているのがCO₂レーザーである。

現在船越歯科医院及び三つの診療所（木村歯科歯周研究所、吉田しげる歯科、松延歯科医院）に於いて、これらのCO₂レーザー（ヨシダ；OPELASER Lite）の治療効果について長年にわたり評価を実施してきた。

主に使用する用途としては、軟組織の切開・蒸散、治療促進、抜歯後の止血などがあり、また応用として歯髄露出面への照射による歯髄保存や、ソケットプリザベーションとしての歯槽骨再生への活用も行っている。そこで今回レーザーの基礎的な話・レーザーの素晴らしい効果について、臨床を通してわかりやすく発表したい。

和田 圭祐 先生



広島大学歯学部卒業
 ハーバード大学歯学部大学院卒業
 アメリカ歯周病専門医・医学博士(D.MSc)
 ペンシルバニア大学歯学部 インプラント学ディレクター
 ボード認定医(American Board of Periodontology)
 ペンシルバニア大学歯学部 アシスタントプロフェッサー
 同大学 歯周病専門医レジデンシープログラム：副ディレクター
 広島大学歯学部非常勤講師
 <現在>医療法人東陽会和田歯科医院（新市） 副院長
 (IJPRD) 編集委員
 (IJOMI) 編集委員

アメリカにおける歯科レーザー治療の現状

— ペンシルバニア大学歯学部における臨床と研究について —

近年、アメリカではレーザーにおける基礎研究データの蓄積により、臨床でのレーザー治療効果への期待が高まってきている。EBM（根拠に基づく医療）が重要視される中で、レーザーを用いた各種疾患に対する臨床研究も近年さらに活発化してきている。ペンシルバニア大学歯学部歯周病科においても2013年よりレーザーセンターを設置し、歯周病治療、歯周補綴治療、インプラント治療並びにそれに付随した骨再生治療、さらにはインプラント周囲炎などに各種レーザーを応用し、今では治療において最も使用頻度の高いツールの一つとなってきている。

本講演では、

- 1) ペンシルバニア大学での歯周・インプラント治療
- 2) ペン大歯周科でのレーザーの主な適応症とその使用法
- 3) レーザー臨床研究の最新トレンド
- 4) 今後の研究の方向性について

ペンシルバニア大学での、歯周・インプラント治療にスポットを当てながら、各種レーザーを取り入れた新たな治療方法を臨床、研究の経験を交えながらお話ししたい。